

# 県 北

三次支局 ☎0824(63)5155 FAX(65)0088  
 庄原支局 ☎0824(72)0149 FAX(75)0029  
 安芸高田支局 ☎0826(42)0063 FAX(47)0020  
 東城ステーション ☎08477(2)0560

## バイオマス不正疑惑 庄原市が告訴

庄原市が20日、木質バイオマス事業に関わるジュオン(広島市安佐南区)と自己破産手続き中グループの元社長たち2人を連。

も難航しそう。先行きは見えない。

■チェック体制  
 問題となったグ社など5社が関わった木粉微粉砕装置の購入取引。補助金申請を受け

た市は、ジュオンとコスモが介在していたことは「知らなかった」としてはいる。しかし、市のチェックのあり方にも課題が浮かぶ。

公共事業は発注元が自治体。市が契約の流れを全て把握する。しかし補助金交付事業の今回は、装置の納入や稼働、グ社の購入費支払いが確認できれば補助金が出る仕組みだった。市は取引の中身までは確認していなかった。

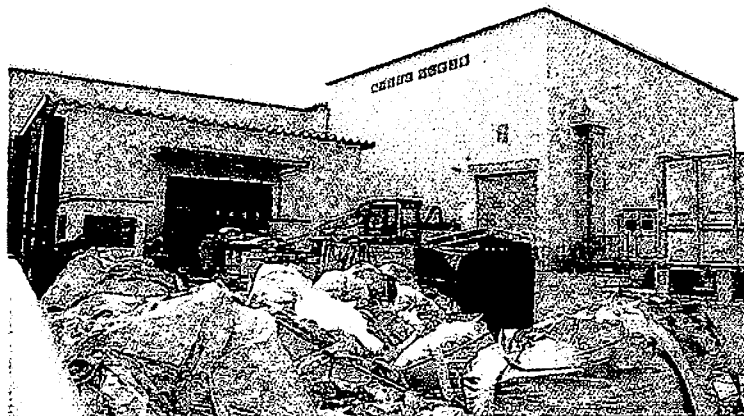
## 本通り商店街

三次市は通り商店街(町)の本通りに公衆トイレ

る。歴史的微の町へのする、地元

# 事業の行方 依然不透明

## 補助金交付 確認に外部委託も検討



庄原市是松町にあるグリーンケミカルの工場。敷地内には資材が散乱している

■今後の展開  
 今回の告訴で、市をミカル(庄原市)の事業を通じて国の補助金計約4億7千万円を受けた見通し。グ社に補助

金の返済能力は見込めない。市が債務を負う可能性がある。今後について市は「国と協議する」と明言を避けた。

市は、別の企業による事業継承で補助金返還回避につなげたい考え。滝口季彦市長は「疑惑発覚後も継承に意欲を持つ企業がある」と話す。具体的には示していない。

同市是松町のグ社の工場は土地と機械はグ社、建物はジュオンの子会社のコスモエース(東京)所有だった。コスモの自己破産で建物の抵当権は金融機関にあり、グ社との調整

様にしたという。新たに年間約200万円の増収を見込む。

同館は06年に開館し、初年度は約1億250万円の黒字を記録。以降は赤字運営が続き、昨年度は約1300万円の持ち出しだった。(山崎亮)

## 奥田美術館の開館時間短縮試行

### 4月から本格実施へ

三次市教委

三次市教委は、2009年から試行してきた奥田元宋・小由女美術館(東酒屋町)の開館時間短縮を、4月から本格実施する。料金も一部改定する。

本来の開館時間は午前10時～午後6時。30分短くして光熱費削減を図る。干前中(前)

者は無料だったが、有料化する。未就学児の呼び込み策として始めたが、定着したとして、市内の他の美術館と同

## サンフレ増資を見送り

安芸高田市方針

J-1サンフレッチェ広島島の株主である安芸高田市は、同クラブが

「時代」日光写真 三次市 島三次ワイ 交流館で、印刷した

